

## 第 6 次瀬戸市総合計画の指標の状況について

瀬戸市経営戦略部政策推進課

令和 2 年 2 月 2 6 日

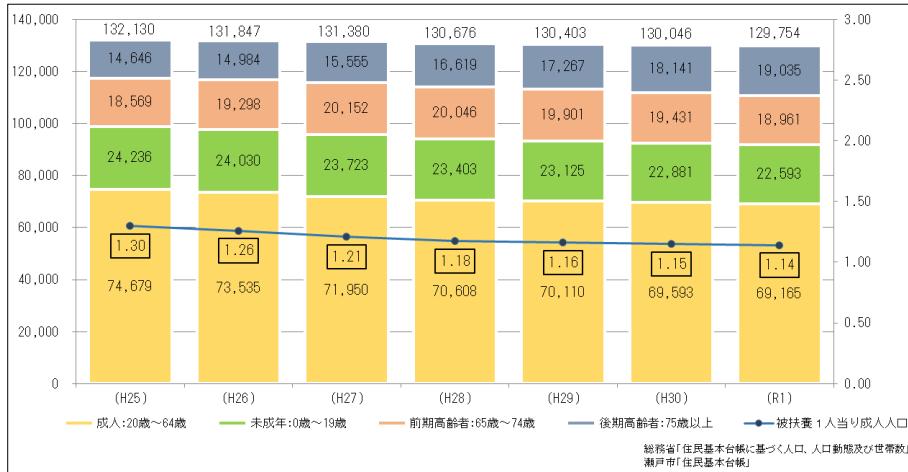
# 将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」に掲げた指標の状況

第6次瀬戸市総合計画の将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」は、3つの都市像を達成するための施策展開・事業実施によってその実現を目指すものです。その達成度については、統計結果による「人口」「人口の構成」「社会増減の傾向」の定量的な指標とアンケート結果による「住みやすさ」「住み続けたいという意向」「まちへの愛着」の定性的な指標の両面から測ることであります。以下に現時点の指標を示します。

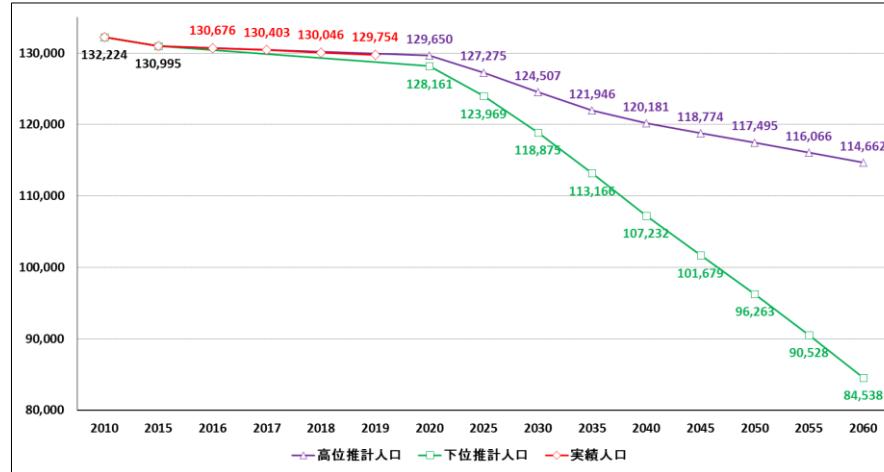
## <将来像の実現を評価する指標（人口に関するもの）>

「人口推移」の指標については、死亡数が出生数を大幅に上回っていることから、総合計画策定時の130,676人から129,754人となっており、922人減少しています。  
 「人口の構成」の指標については、少子高齢化が進んだことによって、被扶養者1人当り成人人口数は、総合計画策定時の1.18人から1.14人となっており、0.04人減少しています。  
 「社会増減の傾向」の指標については、住宅開発が活発に行われ、子育て世代の流入等もあったことから、総合計画策定時の年間120人の社会減から年間93人の社会増となっています。

人口推移（年齢4区分）・人口の構成



推計人口からみた現在の人口推移



社会増減の傾向（5歳階級別）



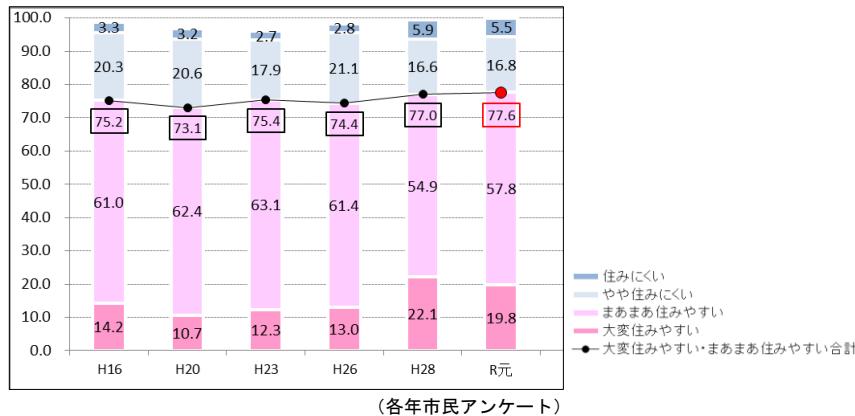
指標名	使用するデータ	単位	第6次瀬戸市総合計画 策定時 瀬戸市数値	現在 瀬戸市数値	指標の出所等
①人口	住民基本台帳	人	130,676 (H28)	129,754 (R元)	住民基本台帳
②人口の構成	被扶養者1人当たりの成人人口	人	1.18 (H28)	1.14 (R元)	住民基本台帳
③社会増減の傾向	住民基本台帳	人	▲120(H28)	<b>93 (R元)</b>	住民基本台帳人口移動報告

※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

## <将来像の実現を評価する指標（市民アンケートに関するもの）>

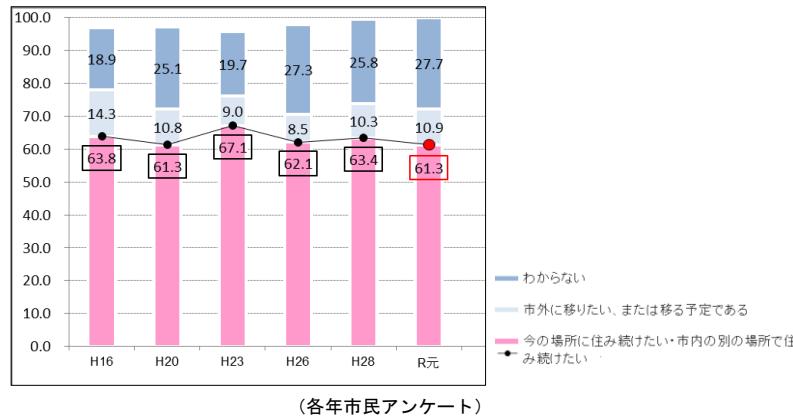
市民アンケート結果のうち「住みやすさ」の指標については、総合計画策定時の77.0%から77.6%となっており、0.6ポイント上昇しています。  
 市民アンケート結果のうち「住み続けたいという意向」の指標については、総合計画策定時の63.4%から61.3%となっており、2.1ポイント下降しています。  
 市民アンケート結果のうち「まちへの愛着」の指標については、総合計画策定時の80.6%から74.4%となっており、6.2ポイント下降しています。

市民アンケート結果「住みやすさ」



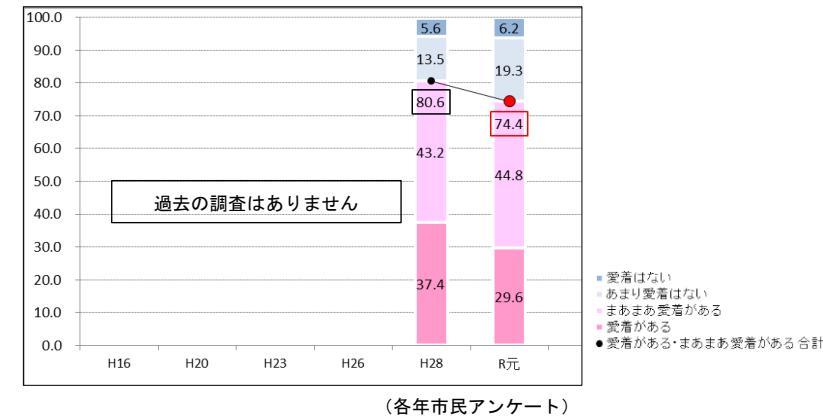
(各年市民アンケート)

市民アンケート結果「住み続けたいという意向」



(各年市民アンケート)

市民アンケート結果「まちへの愛着」



(各年市民アンケート)

指標名	使用するデータ	単位	第6次瀬戸市総合計画 策定時 瀬戸市数値	現在 瀬戸市数値	指標の出所等
④住みやすさ	「住みやすい」と答えた市民の割合	%	77.0 (H28)	<b>77.6 (R元)</b>	市アンケート調査
⑤住み続けたいという意向	「住み続けたい」と答えた市民の割合	%	63.4 (H28)	61.3 (R元)	市アンケート調査
⑥まちへの愛着	「愛着がある」と答えた市民の割合	%	80.6 (H28)	74.4 (R元)	市アンケート調査

※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

# 都市像①「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」に掲げた指標の状況

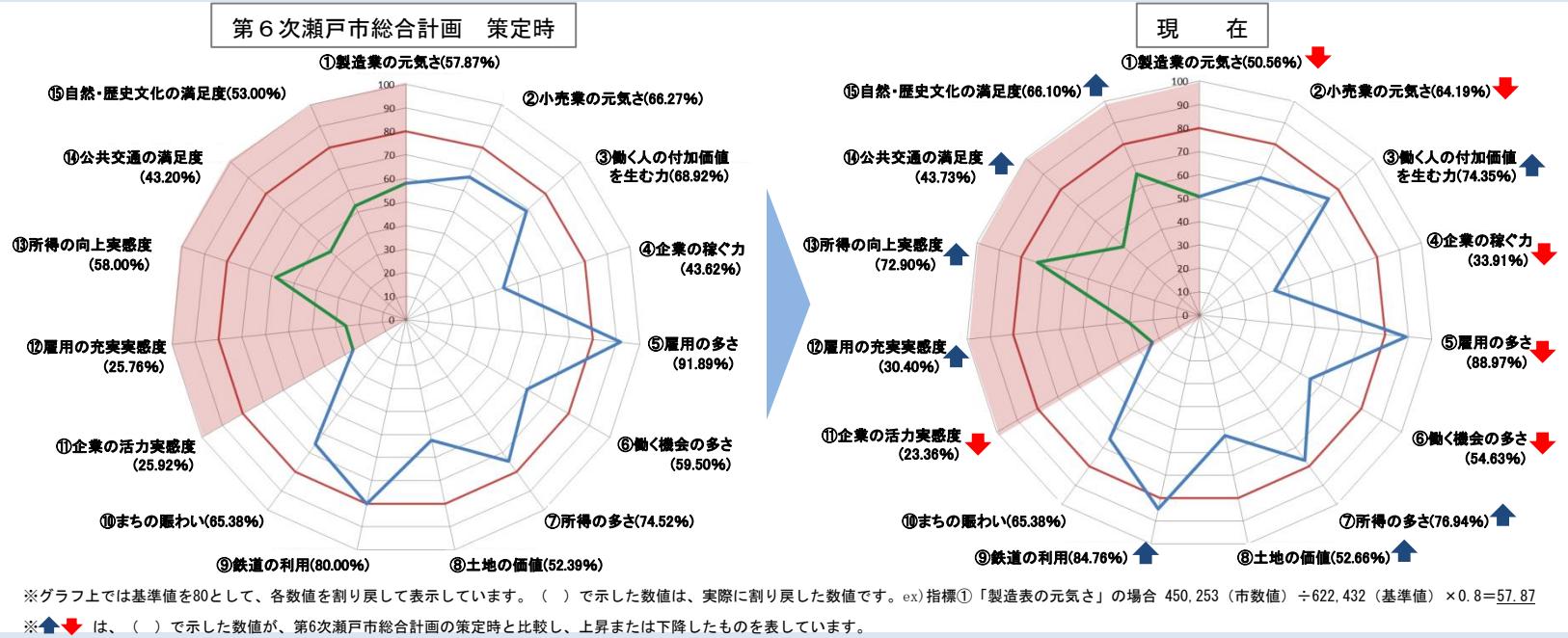
## 1 レーダーチャートの動き

「①製造業の元気さ」については、指標の出所である工業統計の集計方法が変更されたことにより、数値が減少しています。

「③働く人の付加価値を生む力」については、数値が上昇しています。また、「⑬所得の向上実感度」についても上昇がみられることから、市民の実感が数値に表れていると考えられます。これらのことから、企業誘致の推進などの着実な実施により、その成果として地域経済の活性化や安定した雇用につながっているものと考えられます。「⑫雇用の充実実感度」については、数値の上昇はみられますが目標とする基準値と比較すると低いいため、引き続き事業を実施し、数値の上昇につなげていくことが必要と考えられます。

「⑧土地の価値」については、近隣都市の地価上昇にけん引され、数値が上昇していると考えられます。一方、「⑭公共交通の満足度」については数値の上昇はみられますが目標とする基準値と比較すると低いため、公共交通の改善を図っていく必要があると考えられます。

さらに、「⑮自然・歴史文化の満足度」については、シティプロモーションの成果が数値として表れていると考えられます。



## 2 都市像の状況を示す指標

指標名	使用するデータ	単位	第6次瀬戸市総合計画 策定時		現在		指標の出所等
			瀬戸市数値	基準値	瀬戸市数値	基準値	
①製造業の元気さ	製造品出荷額等	百万円	450,253(H26)	622,432(県平均)	397,776(H29)	629,359(県平均)	工業統計
②小売業の元気さ	一人あたり小売業年間商品販売額	円/人	686,862(H26)	829,152(県平均)	<b>761.846(H28)</b>	949,527(県平均)	商業統計・経済センサス-活動調査
③働く人の付加価値を生む力	就業者一人あたり市内総生産	千円/人	8,394(H25)	9,744(県平均)	<b>9.395(H27)</b>	10,109(県平均)	県調査
④企業の稼ぐ力	一人あたり法人市民税額	円/人	9,495(H25)	17,414(県平均)	<b>9.628(H28)</b>	22,717(県平均)	県調査
⑤雇用の多さ	市内事業所の従業者数	人	50,564(H26)	44,021(県平均)	46,118(H28)	41,468(県平均)	経済センサス-基礎調査・活動調査
⑥働く機会の多さ	有効求人倍率(瀬戸・尾張旭管内)	倍	0.90(H27)	1.20(県平均)	<b>1.12(H30)</b>	1.64(県平均)	県調査
⑦所得の多さ	一人あたり家計所得	千円/人	3,362(H25)	3,609(県平均)	<b>3.450(H27)</b>	3,587(県平均)	県調査
⑧土地の価値	住宅地の平均価格	円/㎡	55,000(H28)	83,984(県平均)	<b>57.000(R1)</b>	86,600(県平均)	地価公示
⑨鉄道の利用	年間の駅利用者数	人	7,477,020(H26)	7,477,020(市H26)	<b>7.921.576(H29)</b>	7,477,020(市H26)	市調査
⑩まちの賑わい	休日の昼間人口と人口との比	倍	1.52(H27)	1.86(県平均)	→	→	地域経済分析システム(RESAS)
⑪企業の活力実感度	様々な企業の活動が盛んであると思いますか。	%	16.2(H28)	50.0(目標値)	14.6(R元)	50.0(目標値)	市アンケート調査
⑫雇用の充実実感度	働く場が多くあると思いますか。	%	16.1(H28)	50.0(目標値)	<b>19.0(R元)</b>	50.0(目標値)	市アンケート調査
⑬所得の向上実感度	働く場があり、経済的に自立して暮らすことが出来ていると思いますか。	%	58.0(H28)	80.0(目標値)	<b>72.9(R元)</b>	80.0(目標値)	市アンケート調査
⑭公共交通の満足度	公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。	%	32.4(H28)	60.0(目標値)	<b>32.8(R元)</b>	60.0(目標値)	市アンケート調査
⑮自然・歴史文化の満足度	自然や伝統・文化など「瀬戸らしいと感じるもの」を他の人におすすめすることができますか。	%	53.0(H28)	80.0(目標値)	<b>66.1(R元)</b>	80.0(目標値)	市アンケート調査

※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

## 3 これまでの主な取組みについて

<b>企業誘致、先端産業誘致・育成</b> ・企業誘致推進 ・ソフトウェア企業誘致推進補助金 など	<b>農業振興と農業の6次産業化</b> ・アグリカルチャー推進	<b>新産業の創出</b> ・企業誘致推進<再掲> ・ソフトウェア企業誘致推進補助金<再掲>	<b>ツクリテ支援、若手作家、職人の活動支援</b> ・空家等利用促進補助金 ・ツクリテ支援補助金 ・ツクリテ支援 など	<b>市内外への「シティプロモーション」の展開</b> ・シティプロモーション推進
<b>地域産業の振興</b> ・地域産業振興	<b>地域の産業を支える人材育成</b> ・次世代クリエイター育成 など	<b>起業・創業支援</b> ・起業・創業支援	<b>観光産業の振興</b> ・まるっとミュージアム推進 ・日本遺産魅力発信推進 など	<b>陶磁器産業のブランド化</b> ・瀬戸焼振興
				<b>広域ネットワークを形成する幹線道路の整備</b> ・赤津山口線整備 など

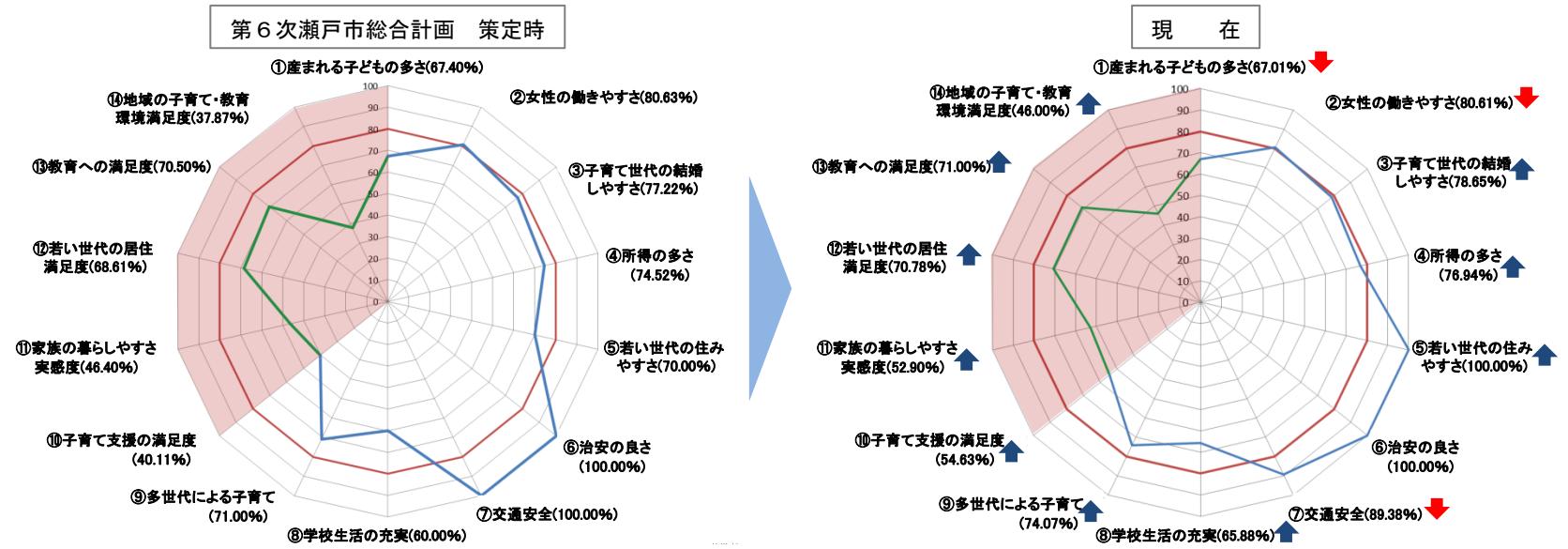
# 都市像②「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」に掲げた指標の状況

## 1 レーダーチャートの動き

「③子育て世代の結婚しやすさ」「⑤若い世代の住みやすさ」「⑨多世代による子育て」については、数値が上昇しています。また、「⑫子育て世代の居住満足度」についても上昇がみられることから、市民の実感が数値に表れていると考えられます。これらのことから、子育てサービスが充実され、その成果として若い世代の定住・転入につながっているものと考えられます。

「⑩子育て支援の満足度」「⑪家族づくりのしやすさ実感度」「⑭地域による子育ての充実度」については、数値の上昇はみられますが目標とする基準値と比較すると低いため、引き続き事業を実施し、数値の上昇につなげていくことが必要と考えられます。

また、「⑧学校生活の充実」「⑬教育の満足度」についても数値の上昇がみられることから、小中学校へのエアコン設置や校舎改修工事等による教育環境の整備が進められるとともに、教育サポート体制の充実が図られたことにより、成果として表れていると考えられます。



※グラフ上では基準値を80として、各数値を割り戻して表示しています。( )で示した数値は、実際に割り戻した数値です。ex) 指標①「産まれる子どもの多さ」の場合 1.23(市数値)÷1.46(基準値)×0.8=67.397  
 ※▲▼は、( )で示した数値が、第6次瀬戸市総合計画の策定時と比較し、上昇または下降したものを表しています。

## 2 都市像の状況を示す指標

指標名	使用するデータ	単位	第6次瀬戸市総合計画 策定時		現在		指標の出所等
			瀬戸市数値	基準値	瀬戸市数値	基準値	
①産まれる子どもの多さ	合計特殊出生率	-	1.23(H26)	1.46(県平均)	<b>1.29(H29)</b>	1.54(県平均)	人口動態統計等
②女性の働きやすさ	25～39歳の女性人口に占める有業者の割合	%	63.6(H22)	63.1(県平均)	<b>66.6(H27)</b>	66.1(県平均)	国勢調査
③子育て世代の結婚しやすさ	25～39歳の人口における有配偶率	%	52.7(H22)	54.6(県平均)	52.3(H27)	53.2(県平均)	国勢調査
④所得の多さ	1人あたり家計所得	千円/人	3,362(H25)	3,609(県平均)	<b>3,450(H27)</b>	3,587(県平均)	県調査
⑤若い世代の住みやすさ	25～39歳の社会増減	人	△2(H27)	12(県平均)	<b>132(H30)</b>	60.65(県平均)	住民基本台帳人口移動報告
⑥治安の良さ	人口千人あたり犯罪認知件数	件/千人	7.16(H27)	10.24(県平均)	<b>4.13(H30)</b>	7.30(県平均)	市・県調査
⑦交通安全	人口千人あたり交通事故発生件数	件/千人	4.36(H27)	5.93(県平均)	<b>4.18(H30)</b>	4.67(県平均)	愛知県警調査
⑧学校生活の充実	長期欠席児童・生徒数の割合	%	2.28(H25)	1.71(県平均)	<b>2.04(H29)</b>	1.68(県平均)	学校基本調査
⑨多世代による子育て	全世帯数における3世代世帯の割合	%	6.55(H22)	7.38(県平均)	5.62(H27)	6.07(県平均)	国勢調査
⑩子育て支援の満足度	地域で支え合って、安心して子どもを生み育てることができる環境にあると思いますか。	%	35.1(H28)	70.0(目標値)	<b>47.8(R元)</b>	70.0(目標値)	市アンケート調査
⑪家族の暮らしやすさ実感度	住宅環境や地域のつながりが良く、家族と共に暮らしやすい環境があると思いますか。	%	46.4(H28)	80.0(目標値)	<b>52.9(R元)</b>	80.0(目標値)	市アンケート調査
⑫若い世代の居住満足度	瀬戸市が住みやすいと回答した20～39歳までの市民の割合	%	72.9(H28)	85.0(目標値)	<b>75.2(R元)</b>	85.0(目標値)	市アンケート調査
⑬教育への満足度	授業の内容がよくわかると回答した中学生(3年生)の割合	%	70.5(H27)	80.0(目標値)	<b>71.0(R元)</b>	80.0(目標値)	市アンケート調査
⑭地域の子育て・教育環境満足度	豊かな人間性や学ぶ力を育てるよう、地域全体で子どもの教育に関わっていると思いますか。	%	28.4(H28)	60.0(目標値)	<b>34.5(R元)</b>	60.0(目標値)	市アンケート調査

※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

## 3 これまでの主な取組みについて

<b>子育て総合支援センター創設</b> ・子育て総合支援センター運営	<b>子育てサービスの整備・充実</b> ・民間保育所入所 ・休日保育 など ・公立保育所運営	<b>教育サポートセンターの充実</b> ・学校支援 ・小中学校適正配置 ・適応指導推進	<b>面的整備事業による新たなまちづくり/コンパクトシティの推進</b> ・都市計画等策定 ・都市計画等策定(中水野駅周辺まちづくり)
<b>妊娠・出産への支援/子どもの健康の保持・増進</b> ・産前・産後支援 ・一般不妊治療費等助成金 ・妊婦・乳児健康診査 ・児童生活習慣病対策 など	<b>将来を見据えた教育の実施</b> ・小中一貫校整備 ・中学校施設整備 ・小学校施設整備	<b>公園や歩道など子育てのための都市基盤の整備・維持管理</b> ・道路維持管理 ・品野窠町2号線整備 ・品野野線整備 ・公園施設整備	<b>鉄道駅のバリアフリー化</b> ・水野駅北口整備

# 都市像③「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」に掲げた指標の状況

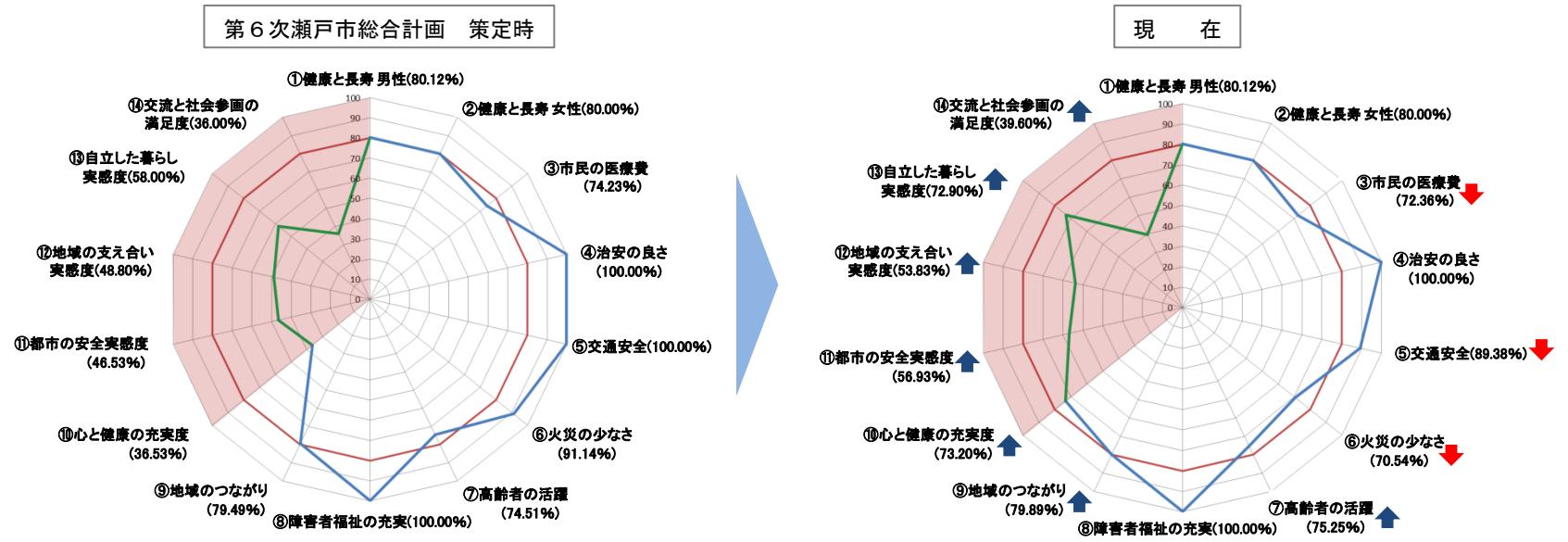
## 1 レーダーチャートの動き

「③市民の医療費」の数値が上昇していることは、本市における高齢化が進んでいることの表れであると考えられます。

「⑦高齢者の活躍」については、数値が上昇しています。また、「⑩心と健康の充実度」「⑬自立した暮らし実感度」についても上昇がみられることから、市民の実感が数値に表れていると考えられます。これらのことから、高齢者を支える体制づくりが進められ、地域等で活躍する高齢者の増加につながっていると考えられます。

「⑪都市の安全実感度」についても数値の上昇がみられますが、目標とする基準値と比較すると低いことから、引き続き、火災・救急予防啓発活動等による地域防災力の強化につなげていくことが必要と考えられます。

「⑫地域の支え合い実感度」「⑭交流と社会参画の満足度」についても数値の上昇がみられますが、目標とする基準値と比較すると低いことから、引き続き、市民や地域の活動によるまちの課題解決活動を推進し、地域住民が集う新たなコミュニティを創造するための施策を展開していくことが必要と考えられます。



※グラフ上では基準値を80として、各数値を割り戻して表示しています。( )で示した数値は、実際に割り戻した数値です。ex)指標①「健康と長寿 男性」の場合 65.8(市数値)÷65.7(基準値)×0.8=80.12  
 ※▲▼は、( )で示した数値が、第6次瀬戸市総合計画の策定時と比較し、上昇または下降したものを表しています。

## 2 都市像の状況を示す指標

指標名	使用するデータ	単位	第6次瀬戸市総合計画 策定時		現在		指標の出所等
			瀬戸市数値	基準値	瀬戸市数値	基準値	
①健康と長寿(男性)	健康寿命(男性)	歳	65.8(H26)	65.7(県平均)	→	→	市 調 査
②健康と長寿(女性)	健康寿命(女性)	歳	67.2(H26)	67.2(県平均)	→	→	市 調 査
③市民の医療費	1人あたり医療費	円/人	319,727(H27)	296,675(県平均)	349,781(H28)	316,381(県平均)	厚 労 省 調 査
④治安の良さ	人口千人あたり犯罪認知件数	件/千人	7.16(H27)	10.24(県平均)	<b>4.13(H30)</b>	7.31(県平均)	市 ・ 県 調 査
⑤交通安全	人口千人あたり交通事故発生件数	件/千人	4.36(H27)	5.93(県平均)	<b>4.18(H30)</b>	4.67(県平均)	愛 知 県 警 調 査
⑥火災の少なさ	人口一万人あたり火災発生件数	件/万人	2.37(H27)	2.70(県平均)	3.13(H30)	2.76(県平均)	消 防 庁 調 査
⑦高齢者の活躍	65歳以上の就業率	%	21.70(H22)	23.30(県平均)	<b>22.66(H27)</b>	24.09(県平均)	国 勢 調 査
⑧障害者福祉の充実	1人あたり障害福祉サービス等・障害児通所支援等事業所数	箇所/万人	9.8(H26)	6.3(県平均)	<b>10.2(H29)</b>	7.9(県平均)	社 会 福 祉 施 設 等 調 査
⑨地域のつながり	自治会の加入率	%	77.9(H26)	78.4(県平均)	74.5(H30)	74.6(県平均)	市 調 査
⑩心と健康の充実度	健康で行きがいのある暮らしをするための環境が整っていると思いますか。	%	27.4(H28)	60.0(目標値)	<b>54.9(R元)</b>	60.0(目標値)	市 アンケート調査
⑪都市の安全実感度	土砂災害、風水害などの不安がない住環境が整っていると思いますか。	%	34.9(H28)	60.0(目標値)	<b>42.7(R元)</b>	60.0(目標値)	市 アンケート調査
⑫地域の支え合い実感度	病気や子育てなどで困った時にも、家族や地域の支えあいにより、暮らしていくことができると思いますか。	%	42.7(H28)	70.0(目標値)	<b>47.1(R元)</b>	70.0(目標値)	市 アンケート調査
⑬自立した暮らし実感度	働く場があり、経済的に自立して暮らすことができていると思いますか。	%	58.0(H28)	80.0(目標値)	<b>72.9(R元)</b>	80.0(目標値)	市 アンケート調査
⑭交流と社会参画の満足度	開かれた市政が推進されていると思いますか。	%	27.0(H28)	60.0(目標値)	<b>29.7(R元)</b>	60.0(目標値)	市 アンケート調査

※太字かつ下線で示した本市数値は、第6次瀬戸市総合計画策定時の本市数値と比較して向上したものです。

## 3 これまでの主な取組みについて

### 市民の主体的な健康づくりの推進 ／多面的な生活習慣病対策

- ・ 疾病予防
- ・ 健康づくり推進

### 地域包括ケアシステムの構築 ／認知症高齢者と家族の支援

- ・ 介護予防・生活支援サービス
- ・ 介護予防普及啓発
- ・ 地域介護予防活動支援
- ・ 地域リハビリテーション活動支援
- ・ 認知症総合支援

### 市民活動の推進と拡充への支援

- ・ 地域力向上拠点施設整備
- ・ せと市民活動応援補助金
- ・ 地域力向上活動推進補助金

### 消防・救急体制の充実 ／地域防災力の向上

- ・ 一般管理
- ・ 防災・減災啓発
- ・ 火災予防・防火指導